

〈町屋－I〉 machiya - I

各階で異なる印象を持つ2階建ての住宅である。

1階に個室、2階に水回りを中心にLDKを配置し、屋上をすり鉢状のルーフバルコニーとしている。生活における機能が各階で違うことに加えて、平面的、断面的なスケール操作により、空間の広がりや明るさの違いを創り出すことによって各階の印象が異なる。

日常において使用頻度の高い階段と廊下の扱いを重要と考えた。廊下を個室やLDKと同じように扱い、さらに洗面や脱衣といった機能を持たせた。住宅全体に快適な環境を創り出すことで、廊下を通して明るさが行きわたり、各階に関係性がうまれる。

水回りを中心に配置されているLDK+廊下は、リング状に連続した空間となっていて、どこまでも続くような広がりを生み出すと同時に、様々な行為が行われる場所ともなっている。

所在地：東京都荒川区
用途：専用住宅
規模：地上2階＋ルーフバルコニー
構造：木造
敷地面積：63.28㎡
建築面積：48.20㎡
延床面積：83.67㎡
設計期間：2006.12－2007.12
工事期間：2008.1－2008.8



2階ダイニングよりキッチンを見る。北側に配置した段窓から光がぼんやり射し込む。外側に向かって天井の勾配をとることで広がり創り出している。



2階ダイニングよりリビングを見る。リビングには床に面して連窓がある。



2階キッチンより廊下を見る。キッチンの反対側のコア部分には作業スペースがある。



R階ルーフバルコニー。すり鉢状になっていって、



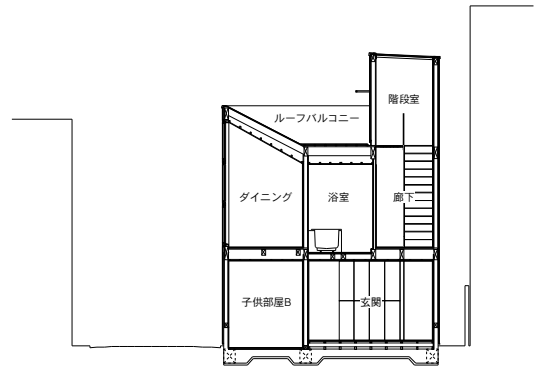
1階玄関から階段を見る。階段室から光が射し込む。



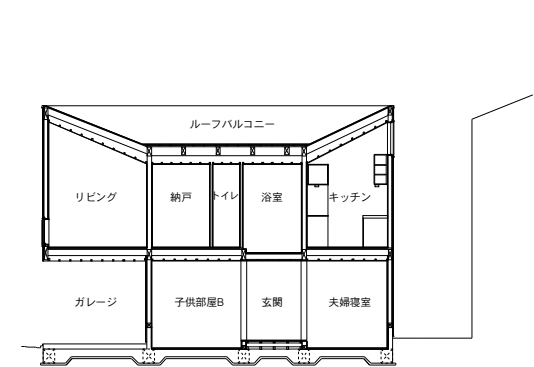
1階個室。壁の仕上げを2面ずつ白色と茶色に塗り分けている。



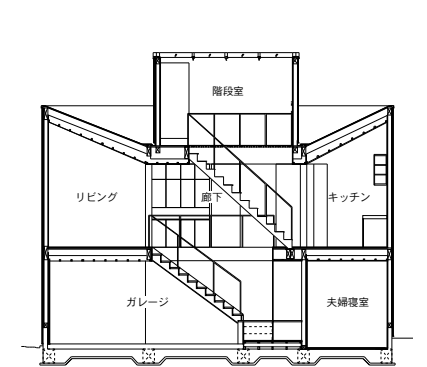
2階リビングより廊下を見る。トップライトから光が射し込み最も明るい場所となっている。脱衣スペースも兼ねている。



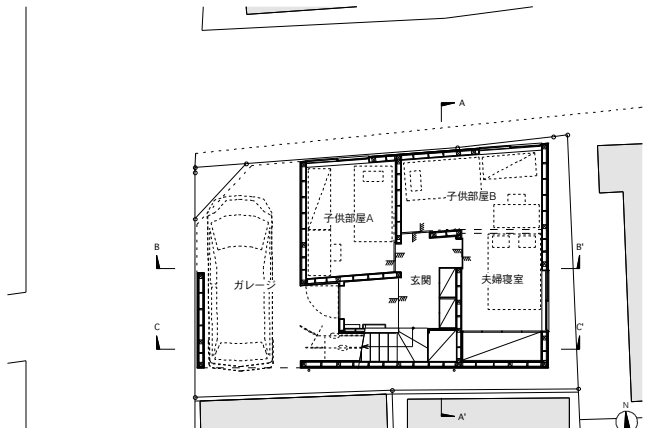
A-A'断面図



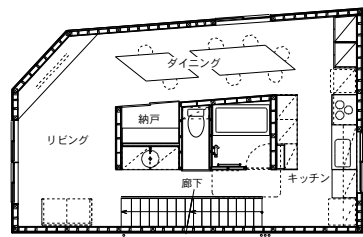
B-B'断面図



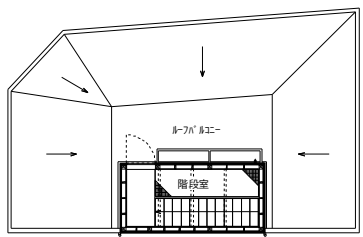
C-C'断面図



1階平面図



2階平面図



R階平面図